

目標達成計画

作成日: 平成 28年 1月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期ケアの対応マニュアルは出来ているが、現在の体制では終末期の対応が困難である。	重度化や終末期対応に向けて、職員研修に取り組む安心・納得のいく最期を迎えられるように支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化や終末期対応に向けて、必要な知識や技術の習得に努める。 ・医療機関や他施設との支援体制強化に努め、入居者が安心できる体制づくりに繋げる。 	12ヶ月
2	20	入居後、年数を重ねるごとに入居者個人の馴染みの人(友達)や場所との関係が希薄になったり、途絶えている方が多くなっている。	馴染みの関係が途絶えないよう、入居者の会いたい人や行きたいところがあれば思いに応えられるように外出援助に努め、懐かしい人や場所との関係を継続できるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加の機会を多く持ち、地域の方々との交流を図る。 ・本人・家族からの情報により職員が馴染みの人や場所の状況を把握し、毎月2～3名程度行きたい場所への外出支援を行っていく。 	12ヶ月
3	35	海拔が低く、津波の被害が想定されるが、敷地内に避難できる場所が無い。避難後のサービス継続にも不安がある。	入居者・職員が津波到達までに避難し、継続してサービスが実施できるようにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回避難訓練を行い、スムーズな動きができ避難時間が短縮できるように訓練する。 ・避難の必需品の準備を行い、避難後のサービスが継続して行えるようにBCPの策定を行う。 ・備蓄品の賞味期限等の確認を行い、必要に応じて新しいものにする。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。